

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年5月10日

上場会社名 株式会社ルネサンス 上場取引所 東  
 コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)岡本 利治  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員 最高財務責任者 (氏名)安澤 嘉丞 (TEL)03-5600-7811  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 2024年6月6日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	43,627	7.0	1,261	85.4	524	68.5	632	—
2023年3月期	40,760	9.8	680	△25.5	311	△50.8	△1,141	—
(注) 包括利益	2024年3月期		579百万円 (—%)		2023年3月期		△1,191百万円 (—%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	32.45	30.47	5.7	1.1	2.9
2023年3月期	△60.44	—	△10.7	0.8	1.7

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 △362百万円 2023年3月期 一百万円

(注) 2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	53,194	11,425	21.5	498.37
2023年3月期	42,272	10,991	26.0	475.41

(参考) 自己資本 2024年3月期 11,413百万円 2023年3月期 10,979百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	4,831	△4,520	436	6,211
2023年3月期	1,614	△4,238	3,350	5,532

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	4.0	—	4.0	8.0	151	—	1.6
2024年3月期	—	3.0	—	7.0	10.0	188	30.8	2.1
2025年3月期(予想)	—	3.0	—	8.0	11.0		30.6	

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,500	44.2	400	41.9	100	△53.3	10	△93.4	0.00
通期	63,000	44.4	1,800	42.7	1,000	90.6	700	10.6	36.00

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	21,379,000 株	2023年3月期	21,379,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期	2,490,706 株	2023年3月期	2,490,706 株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	18,888,294 株	2023年3月期	18,888,294 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	43,048	7.0	1,264	71.6	817	170.4	589	—
2023年3月期	40,244	9.3	737	△24.3	302	△46.5	△1,204	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	30.16	28.36
2023年3月期	△63.76	—

(注) 2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2024年3月期	47,205		11,466	24.3			500.57	
2023年3月期	42,047		11,018	26.2			476.86	

(参考) 自己資本 2024年3月期 11,454百万円 2023年3月期 11,007百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）1ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

(2) 当社は、2024年5月13日に機関投資家・アナリスト・マスコミ向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	1.57	1.57
2024年3月期	—	4.78	—	4.78	9.56
2025年3月期(予想)	—	4.78	—	4.78	9.56

(注) 上記のA種種類株式は、2,092,000株であり、2023年1月31日に発行しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、スポーツクラブの新規入会者数が堅調に推移したこと、総合型スポーツクラブ4施設を開業したこと、スポーツクラブ会員価格の改定を実施したこと等により、売上高は概ね当初の計画に近い水準で推移しました。コストについては、全社的な省エネ対策や国の電気・ガス価格激変緩和対策事業により光熱費を抑制できたことから、計画を下回って推移しました。なお、当社従業員の一層の生活安定や継続的なパフォーマンス発揮を目的として、社員については7月より給与水準の平均5%引き上げ、アルバイトスタッフについては11月より時給の30円増を実施しました。また、2025年4月入社の新卒初任給についても、平均21,900円(10%)の引き上げを決定しました。

当連結会計年度における持分法適用関連会社の株式会社東急スポーツオアシス(現:株式会社スポーツオアシス、以下「オアシス」といいます。)において、固定資産の回収可能性を検討した結果、15施設の減損処理を行ったこと等により、3億62百万円を営業外損失に計上しました。また、オアシスの株式を段階取得(2023年3月31日に40%、2024年3月31日に残り60%取得)したことに伴い、40%取得時の株式の再評価によって生じた評価益3億37百万円を特別利益に計上しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高436億27百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益12億61百万円(前年同期比85.4%増)、経常利益5億24百万円(前年同期比68.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6億32百万円(前年同期親会社株主に帰属する当期純損失11億41百万円)となりました。

なお、当連結会計年度末にオアシスを100%子会社としたことにより、当社グループは2025年3月期において、売上高でフィットネス業界最大規模となる見込みです。

さらに、2025年4月1日にオアシスとの合併を予定しております。詳細は、本日公表の「連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ」、及び「2024-2027中期経営計画の策定に関するお知らせ」を参照ください。

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が一段と進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、為替相場の変動や原料価格の高騰、物価上昇の影響により個人消費の停滞が見られるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

フィットネス業界においては、ライフスタイルの変化に伴う健康課題の顕在化による基礎体力の維持・向上への欲求や、人とのつながりを創るコミュニティの場としてのニーズが増加し、スポーツクラブが果たす役割が益々期待されております。

このような中、当社グループは「生きがい創造企業」という企業理念のもと、「人生100年時代を豊かにする健康のソリューションカンパニー」を長期ビジョンに掲げ、生涯現役で働くための健康維持・増進や、医療費等の社会保障費の抑制につながる“治療から予防へ”の取り組みを通じ、健康長寿社会の実現及び地域の社会課題の解決に取り組んでおります。

#### <スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業では、プール、お風呂・サウナ等の総合型スポーツクラブならではのアイテムへの訴求や、筋力トレーニングのニーズに対応したジムエリアの拡充等を実施し、新規入会者数が堅調に推移しました。ジュニアスクールの取り組みとして、5月にスポーツクラブ施設にてお子様の運動能力と非認知能力を育む運動スクール「KIDS FIT(キッズフィット)」の提供を開始したほか、選手クラス及び成人クラスへのソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社が開発したスポーツICTソリューション「スマートスイミングレッスン」の導入を開始しました。また、「2024年 オリコン顧客満足度®調査 キッズスイミングスクール 小学生」において、評価項目「インストラクター」の1位に選ばれました。加えて、昨今の光熱費等のコスト上昇への対応と、人材及び設備への継続的な投資を通じてお客様に付加価値を提供していくため、7月にフィットネス会員及び10月にジュニアスクール会員の価格改定を実施しました。

新規出店については、7月に「スポーツクラブ&スパ ルネサンス 今里24」（大阪府大阪市）、及び、「スポーツクラブ ルネサンス 仙台卸町24」（宮城県仙台市）、10月に「スポーツクラブ ルネサンス 熊本光の森24」（熊本県菊池郡菊陽町）、及び、「スポーツクラブ ルネサンス ・イオンモール座間24」（神奈川県座間市）の総合型スポーツクラブ4施設を開業しました。この結果、2024年3月末の在籍会員数は395,000名（うちオンライン会員数54,331名）（前年同期比5.7%増）となりました。

なお、菱紙株式会社が運営する「KSC wellness フィットネスクラブ金町・金町スイミングクラブ（東京都葛飾区）」の事業を譲り受け、2024年4月に「スポーツクラブ ルネサンス KSC金町24（以下、「KSC金町」といいます。）」としてリニューアルオープンしました。

#### <介護及び介護・医療周辺事業>

介護及び介護・医療周辺事業では、リハビリ特化型デイサービス、訪問看護ステーション、居宅介護支援、児童発達支援・放課後等デイサービス等の複数のサービスの提供とその連携を通じ、利用者のQOL向上に取り組んだ結果、売上高は前年同期比8.9%増となりました。

当連結会計年度においては、11月に、当社初となるスポーツクラブ内における訪問看護ステーション「ルネサンス リハビリステーション富士見台」（東京都練馬区）を開設しました。当施設では、スポーツクラブのトレーナーと看護師が連携し、運動と看護ケアの両面から地域の健康づくりをサポートしてまいります。また、8月にフランチャイズ施設の「ルネサンス 元氣ジム武蔵関」（東京都練馬区）を開設しています。

がんサバイバーへのリハビリ支援においては、「大阪国際がんセンター認定 がん専門運動指導士（以下、「がん専門運動指導士」といいます。）」の養成・資格認定事業を強化し、当連結会計年度末時点で当社のスポーツクラブ41施設及び介護リハビリ5施設にがん専門運動指導士を77名配置しました。2月には、当社が「運動支援センター」を設置する大阪国際がんセンター（大阪府大阪市中央区）と共同で入院中の患者を対象とした、フレイル予防をテーマとした講座を院内でスタートしました。今後がんサバイバーが安心してリハビリできる環境づくりを推進し、がんと向き合う方々の体力づくり支援を拡げてまいります。

#### <企業・健康保険組合向けの健康づくり事業>

企業・健康保険組合向けの健康づくり事業では、多数の法人に向けた健康経営の取組支援を推進してまいりました。当連結会計年度においては、年々増加する企業の労働災害防止に向けた「転倒災害予防プログラム」等、当社の運動と健康づくりのノウハウを活かしたオリジナルプログラムの受託件数が増加しました。

また、オンラインレッスンサービス「RENAISSANCE Online Livestream（以下、「ROL」といいます。）」を活用し、企業のサービス利用者への健康づくり支援に積極的に取り組みました。住友生命保険相互会社（大阪府大阪市中央区）のVitality会員の利用が増加したほか、大同生命保険株式会社（大阪府大阪市西区）が取り組む中小企業の健康経営の普及・推進活動への活用や株式会社U-NEXT（東京都品川区）が運営する動画配信サービス「U-NEXT」への提供を継続しております。

#### <地域・自治体向けの健康づくり事業>

地域・自治体向けの健康づくり事業では、引き続き、自治体の健康づくりへの取組を支援してまいりました。健康づくりへの取り組み支援の一環として、7月に愛知県大府市及び株式会社トヨタシステムズ（愛知県名古屋市中村区）との「大府市働く世代の睡眠改善実証事業」に関する覚書、9月に神奈川県座間市との「健康増進等に関する包括連携協定」及び1月に神奈川県との「未病改善等に関する連携協定」を締結しました。

また、前年度の約1.5倍となる25自治体、50校にて水泳授業を受託しました。

なお、当連結会計年度において、熊本県菊陽町、岐阜県本巣市、福岡県福岡市、神奈川県大和市、及び、埼玉県蕨市の5自治体と災害発生時の被災者支援における当社スポーツクラブの有効活用に関する協定を締結し、さらなる地域貢献に向け取り組みました。

#### <子会社等について>

RENAISSANCE VIETNAM, INC. のスポーツクラブ事業においては、ベトナムの物価上昇に合わせて、8月より順次会費の改定を実施しました。また、「スイミング&フィットネス ルネサンスジャパン イオンモール LongBien（ロンビエン）」（ハノイ市）において、フランス系インターナショナルスクールの水泳指導受託をはじめ、幼稚園や小学校に向けた水泳授業を拡大しました。

株式会社BEACH TOWNにおいては、公共施設等官民連携事業（PPP）及び公募設置管理制度（Park-PFI）、並びに民間企業との連携による地域のにぎわい創出に向けた企画・提案に取り組んでおります。10月には、京王電鉄株式会社の事業パートナーとして、会員制アウトドアフィットネスクラブ「RIVER PARK 聖蹟桜ヶ丘（東京都多摩市）」を開業しました。

オアシスにおいては、当連結会計年度において、家庭用の運動アイテムの販売を中心とするホームフィットネス事業が好調となったほか、ルネサンスのノウハウを活用しスポーツクラブ事業が順調に推移しました。

#### <その他>

資本事業提携を結ぶアドバンテッジアドバイザーズ株式会社（東京都港区）との取り組みにおいては、スポーツクラブ事業や介護及び介護・医療周辺事業の店舗開発の強化、事業ポートフォリオの再構築等、複数のプロジェクトを推進しております。中長期的な企業価値の向上に向け、同社の知見と当社のノウハウとを相互活用し、諸施策の着実な実行を目指してまいります。

なお、3月に開催された「国際大会代表選手選考会」において、競泳で当社がサポートする池江璃花子選手が、100mバタフライで派遣標準記録を突破して2位に入賞しました。また、KSC金町に所属する成田実生選手が、400m個人メドレーで派遣標準記録を突破して優勝し、両選手は国際大会の日本代表に選出されました。当社は今後も、アスリートの活躍を支援してまいります。

#### <施設数について>

当連結会計年度においては、下表のとおり施設の新規出店及び退店並びに運営受託を開始しました。オアシス及び株式会社BEACH TOWNの施設を含む当連結会計年度末の当社グループの施設数は、スポーツクラブ213施設（直営139施設、業務受託72施設、RENAISSANCE VIETNAM, INC. 2施設）、スタジオ業態2施設、介護リハビリ44施設（直営33施設、フランチャイズ11施設）、アウトドアフィットネス15施設（直営4施設、業務受託11施設）の計274施設となりました。

出店・開設時期	施設名	施設形態
2023年4月	武雄市民球場（他26施設）（佐賀県武雄市）	指定管理
2023年4月	大津町運動公園5施設（他8施設）（熊本県菊池郡大津町）	指定管理
2023年4月	BEACHTOWN OND PARK（佐賀県武雄市）	アウトドアフィットネス（業務受託）
2023年5月	アウトドアフィットネス江戸川（東京都江戸川区）	アウトドアフィットネス（業務受託）
2023年7月	スポーツクラブ&スパ ルネサンス 今里24（大阪府大阪市）	スポーツクラブ
2023年7月	スポーツクラブ ルネサンス 仙台卸町24（宮城県仙台市）	スポーツクラブ
2023年8月	ルネサンス 元氣ジム武蔵関（東京都練馬区）	介護リハビリ（FC）
2023年10月	スポーツクラブ ルネサンス 熊本光の森24（熊本県菊池郡菊陽町）	スポーツクラブ
2023年10月	スポーツクラブ ルネサンス・イオンモール座間24（神奈川県座間市）	スポーツクラブ
2023年10月	RIVER PARK 聖蹟桜ヶ丘（東京都多摩市）	アウトドアフィットネス（業務受託）
2023年11月	ルネサンス リハビリステーション富士見台（東京都練馬区）	介護リハビリ（直営）



退店・受託 終了時期	施設名	施設形態
2023年4月末	Community Park 桶川 (埼玉県桶川市)	アウトドアフィットネス (直営)
2023年6月末	スポーツクラブ ルネサンス 相模大野 (神奈川県相模原市)	スポーツクラブ
2023年10月末	新丸ビル (東京都千代田区)	業務受託
2024年2月末	S/PARK Studio (神奈川県横浜市)	アウトドアフィットネス (業務受託)
2024年3月末	スポーツクラブ ルネサンス 淵野辺 (神奈川県相模原市)	スポーツクラブ
2024年3月末	福山市総合体育館 (他2施設) (広島県福山市)	業務受託

当社グループの報告セグメントは「スポーツクラブ運営事業」のみであるため、セグメントごとの業績については記載しておりません。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態の主な変動要因は、オアシスの株式を2024年3月31日付けにて追加取得し、同社を完全子会社としたことによるものです。

### ① 資産

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ109億21百万円増加し、531億94百万円となりました。これは主に、現金及び預金、売掛金が増加したこと等により流動資産合計が22億8百万円増加したこと、有形固定資産が51億58百万円増加したこと、また、オアシスの資本連結手続きにおいてのれんを計上したこと等から無形固定資産が16億50百万円増加したこと、敷金及び保証金が35億60百万円増加した一方、オアシスの資本連結手続きにおいて投資有価証券が16億11百万円減少したこと等により、投資その他の資産が19億12百万円増加したため、固定資産合計が87億22百万円増加したことによるものです。

### ② 負債

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ104億87百万円増加し、417億69百万円となりました。これは主に、未払金及び未払費用が増加したこと等により流動負債合計が31億65百万円増加し、リース債務及び資産除去債務が増加したこと等により固定負債が73億22百万円増加したことによるものです。

### ③ 純資産

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億33百万円増加し、114億25百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益6億32百万円を計上したこと、配当金1億45百万円を支払ったこと等により利益剰余金が4億87百万円増加したこと等によるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6億79百万円増加し、62億11百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度48億31百万円（前連結会計年度16億14百万円）

営業活動により得られた資金は、48億31百万円（前連結会計年度比199.2%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益6億71百万円、減価償却費24億29百万円（同8.8%増）、長期未払金の増加額5億65百万円（同12.2%減）、未収消費税等の減少額3億37百万円によるものです。



## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度△45億20百万円（前連結会計年度△42億38百万円）

投資活動に使用した資金は、45億20百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出22億47百万円（前連結会計年度比13.0%減）、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出16億22百万円によるものです。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度4億36百万円（前連結会計年度33億50百万円）

財務活動により得られた資金は、4億36百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入34億円（前連結会計年度比183.3%増）、セール・アンド・リースバックによる収入8億31百万円（同50.8%増）、長期借入金の返済による支出23億3百万円（同3.6%増）、リース債務の返済による支出7億47百万円（同14.4%増）、短期借入金の純減少額6億円によるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (当連結会計年度)
自己資本比率 (%)	27.0	26.0	21.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	48.9	41.5	36.6
債務償還年数 (年)	4.9	14.0	5.7
事業収益インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	2.5	1.5	2.2

（注）1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値を用いて、以下の計算式により計算しております。

- ・自己資本比率 : 自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
- ・債務償還年数 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー
- ・事業収益インタレスト・カバレッジ・レシオ : (営業利益＋受取利息＋受取配当金)／支払利息

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている転換社債型新株予約権付社債、短期及び長期借入金並びにリース債務を対象としております。営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、支払利息については、連結損益計算書の支払利息を使用しております。

## (4) 今後の見通し

今後の経済環境については、景気回復の動きは継続するものの、国際情勢の不安定化等による光熱費の高騰や円安による物価上昇の影響、人材不足の本格化等、先行きの不透明な状況が続くものと見込まれます。

フィットネス業界におきましても、安価な無人ジムや新たな業態出店の活発化による競争環境の激化や、人件費及び光熱費等のコスト上昇への対応が急務となっており、それらに伴う業界再編の動きが進むことが想定されます。

このような中、当社グループは、長期ビジョンである「人生100年時代を豊かにする健康のソリューションカンパニー」のもと、新たに中期経営計画を策定しました。翌連結会計年度はその初年度として、新たな成長に向けた取組を加速させてまいります。

投資の面においては、物価上昇や人材確保の対応のため、引き続き人材への投資を重視してまいります。設備投資については、スポーツクラブの既存施設のリニューアル投資や元氣ジム等の介護リハビリ施設の新規出店に注力いたします。

スポーツクラブ事業では、既存施設の付加価値向上に向けた諸施策を推進するとともに、会費以外の売上を増加することによる会員単価の向上と運営の効率化を実現することで収益性向上を目指します。また、スポーツクラブ事業と当社の他の事業間の連携を通じた共創価値を創出することで、健康づくりの提供対象を広げてまいります。

介護及び介護・医療周辺事業では、直営既存施設の収益性維持・向上に取り組むとともに、介護報酬改定等の事業環境変化に柔軟に対応できる新たな運営モデルの構築に取り組みます。さらに、他の介護事業者等に向けた機能加算取得に繋がるソリューションの提案を強化し、新たなビジネスモデルの開発を進めてまいります。

企業・健康保険組合向けの健康づくり事業では、ROLやスマートAction等を通じた企業との健康づくり施策の協働や法人会員の拡大とスポーツクラブ利用の促進による、健康経営の支援及び働く人の健康づくりを強化してまいります。

地域・自治体向けの健康づくり事業では、当社スポーツクラブの周辺自治体と連携した健康課題解決に向けた取組の強化及び公共施設等官民連携事業（PPP）の参画拡大による地方における健康づくり拠点の整備、活性化を図ってまいります。なお、2024年4月より、「からつ市公営施設コミュニティエリア（佐賀県唐津市）」、「伊予市しおさい公園（愛媛県伊予市）」、「伊予市ふたみ潮風ふれあい公園（愛媛県伊予市）」、「粕屋町総合体育館（福岡県糟屋郡粕屋町）」、及び、「春日市いきいきプラザ（福岡県春日市）」の運営業務受託を開始しております。

オアシスについては、スポーツクラブ事業における法人会員等の新規入会の強化や当社スイミングスクールの運営ノウハウの活用、並びに周辺自治体との健康づくりに取り組み、収益性向上を目指します。また、主力事業の一つであるホームフィットネス事業のさらなる成長とグループ全体の連携を通じたシナジー創出に取り組んでまいります。

以上の取組により、2025年3月期の連結業績予想につきましては、売上高630億円（当連結会計年度比44.4%増）、営業利益18億円（同42.7%増）、経常利益10億円（同90.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益7億円（同10.6%増）を見込んでおります。

2024年4月以降は、子会社施設を含め、下表の施設の新規出店及び運営受託を予定しています。

出店・開設時期	施設名	施設形態
2024年4月	スポーツクラブ ルネサンス KSC金町24（東京都葛飾区）	スポーツクラブ
2024年4月	BEACHTOWN 大山（鳥取県西伯郡大山町）	アウトドアフィットネス（直営）
2024年4月	からつ市公営施設コミュニティエリア（佐賀県唐津市）	業務受託
2024年4月	伊予市しおさい公園（愛媛県伊予市）	指定管理
2024年4月	伊予市ふたみ潮風ふれあい公園（愛媛県伊予市）	指定管理
2024年4月	粕屋町総合体育館（福岡県糟屋郡粕屋町）	業務受託
2024年4月	春日市いきいきプラザ（福岡県春日市）	業務受託
2024年 秋	CARAPPO 虎ノ門ヒルズ（東京都港区）	業務受託

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の状況を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,520,381	6,206,728
受取手形	—	6,898
売掛金	1,245,183	2,189,035
リース投資資産	23,957	24,569
商品	234,274	756,560
貯蔵品	75,319	48,228
その他	1,691,792	1,772,847
貸倒引当金	△6,881	△12,701
流動資産合計	8,784,027	10,992,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,049,221	23,105,267
減価償却累計額	△14,463,005	△14,853,124
建物及び構築物(純額)	5,586,215	8,252,143
機械装置及び運搬具	2,541,868	2,656,968
減価償却累計額	△2,176,353	△2,188,418
機械装置及び運搬具(純額)	365,514	468,550
工具、器具及び備品	4,614,544	5,065,056
減価償却累計額	△4,020,218	△4,027,078
工具、器具及び備品(純額)	594,326	1,037,978
土地	1,124,938	1,126,458
リース資産	15,954,239	19,812,710
減価償却累計額	△4,984,686	△6,053,295
リース資産(純額)	10,969,552	13,759,415
建設仮勘定	905,929	60,758
有形固定資産合計	19,546,478	24,705,304
無形固定資産		
のれん	76,610	1,604,312
その他	384,465	507,717
無形固定資産合計	461,076	2,112,030
投資その他の資産		
投資有価証券	1,645,137	33,685
長期貸付金	477,105	420,733
敷金及び保証金	8,814,555	12,374,658
繰延税金資産	1,766,323	1,886,503
その他	751,008	651,120
投資その他の資産合計	13,454,129	15,366,701
固定資産合計	33,461,683	42,184,036
繰延資産		
株式交付費	21,318	13,566
社債発行費	5,700	4,500
繰延資産合計	27,018	18,066
資産合計	42,272,729	53,194,269

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	54,479	87,888
短期借入金	3,000,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	2,203,084	2,343,084
リース債務	695,898	998,157
未払金	1,622,097	2,574,993
未払法人税等	197,429	403,192
前受金	354,084	624,881
賞与引当金	684,062	1,020,464
役員賞与引当金	13,926	19,467
店舗閉鎖損失引当金	—	21,705
資産除去債務	13,453	28,472
その他	1,503,415	2,985,257
流動負債合計	10,341,931	13,507,562
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,499,988	1,499,988
長期借入金	3,751,721	4,708,637
リース債務	11,400,747	15,339,570
繰延税金負債	—	35,273
退職給付に係る負債	851,520	1,363,783
資産除去債務	1,357,079	2,524,289
その他	2,078,499	2,790,098
固定負債合計	20,939,556	28,261,642
負債合計	31,281,487	41,769,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,210,356	3,210,356
資本剰余金	5,813,491	5,813,491
利益剰余金	4,644,051	5,131,498
自己株式	△2,514,753	△2,514,753
株主資本合計	11,153,145	11,640,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,846	8,348
為替換算調整勘定	△145,643	△213,914
退職給付に係る調整累計額	△32,779	△21,634
その他の包括利益累計額合計	△173,576	△227,201
新株予約権	11,673	11,673
純資産合計	10,991,242	11,425,064
負債純資産合計	42,272,729	53,194,269

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	40,760,685	43,627,212
売上原価	37,781,939	39,961,151
売上総利益	2,978,746	3,666,061
販売費及び一般管理費	2,298,356	2,404,672
営業利益	680,390	1,261,388
営業外収益		
受取利息	9,033	8,192
受取配当金	226	175
為替差益	55,123	76,940
転リース差益	10,316	10,316
受取手数料	2,112	1,669
受取補償金	—	80,000
その他	49,773	64,662
営業外収益合計	126,585	241,956
営業外費用		
支払利息	467,336	579,811
持分法による投資損失	—	362,229
その他	28,308	36,755
営業外費用合計	495,644	978,796
経常利益	311,331	524,548
特別利益		
固定資産売却益	360	—
段階取得に係る差益	—	337,057
特別利益合計	360	337,057
特別損失		
固定資産除却損	14,260	14,646
減損損失	599,111	149,738
店舗閉鎖損失	3,000	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	21,705
その他	932	4,471
特別損失合計	617,305	190,562
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△)	△305,613	671,043
法人税、住民税及び事業税	90,034	165,118
法人税等調整額	749,303	△127,026
法人税等合計	839,338	38,091
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,144,952	632,951
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△3,306	—
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,141,646	632,951

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,144,952	632,951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,329	3,501
為替換算調整勘定	△50,086	△68,270
退職給付に係る調整額	5,155	11,144
その他の包括利益合計	△46,260	△53,624
包括利益	△1,191,213	579,327
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,187,906	579,327
非支配株主に係る包括利益	△3,306	—



## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,210,380	4,813,515	5,936,804	△2,514,753	10,445,945
当期変動額					
新株の発行	999,976	999,976			1,999,952
剰余金の配当			△151,106		△151,106
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,141,646		△1,141,646
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	999,976	999,976	△1,292,752	—	707,199
当期末残高	3,210,356	5,813,491	4,644,051	△2,514,753	11,153,145

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	6,176	△95,557	△37,934	△127,316	—	3,306	10,321,936
当期変動額							
新株の発行							1,999,952
剰余金の配当							△151,106
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△1,141,646
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,329	△50,086	5,155	△46,260	11,673	△3,306	△37,893
当期変動額合計	△1,329	△50,086	5,155	△46,260	11,673	△3,306	669,305
当期末残高	4,846	△145,643	△32,779	△173,576	11,673	—	10,991,242

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,210,356	5,813,491	4,644,051	△2,514,753	11,153,145
当期変動額					
剰余金の配当			△145,505		△145,505
親会社株主に帰属する当期純利益			632,951		632,951
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	487,446	—	487,446
当期末残高	3,210,356	5,813,491	5,131,498	△2,514,753	11,640,592

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,846	△145,643	△32,779	△173,576	11,673	10,991,242
当期変動額						
剰余金の配当						△145,505
親会社株主に帰属する当期純利益						632,951
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,501	△68,270	11,144	△53,624		△53,624
当期変動額合計	3,501	△68,270	11,144	△53,624	—	433,821
当期末残高	8,348	△213,914	△21,634	△227,201	11,673	11,425,064

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△305,613	671,043
減価償却費	2,233,037	2,429,340
減損損失	599,111	149,738
店舗閉鎖損失	3,000	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	33,799	26,455
長期未払金の増減額(△は減少)	644,840	565,859
賞与引当金の増減額(△は減少)	193,572	120,139
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	21,705
固定資産売却損益(△は益)	△360	—
固定資産除却損	14,260	14,646
受取利息及び受取配当金	△9,260	△8,367
支払利息	467,336	579,811
持分法による投資損益(△は益)	—	362,229
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△337,057
売上債権の増減額(△は増加)	△193,195	△150,946
棚卸資産の増減額(△は増加)	8,016	△52,186
前払費用の増減額(△は増加)	△55,210	△7,253
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,002	2,396
未払金の増減額(△は減少)	255,823	116,857
未払費用の増減額(△は減少)	57,036	181,828
前受金の増減額(△は減少)	29,424	26,599
未収消費税等の増減額(△は増加)	△337,793	337,793
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,118,243	273,030
その他	△157,455	△120,254
小計	2,356,122	5,203,409
利息及び配当金の受取額	329	290
利息の支払額	△467,158	△581,477
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△274,354	209,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,614,938	4,831,805

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
関係会社株式の取得による支出	△1,616,497	—
有形固定資産の取得による支出	△2,583,976	△2,247,150
有形固定資産の売却による収入	360	—
無形固定資産の取得による支出	△117,852	△265,169
敷金及び保証金の差入による支出	△256,217	△597,209
敷金及び保証金の回収による収入	314,688	165,723
長期貸付金の回収による収入	71,875	68,275
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,622,901
その他	△51,069	△21,768
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,238,687</b>	<b>△4,520,199</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,150,000	△600,000
長期借入れによる収入	1,200,000	3,400,000
長期借入金の返済による支出	△2,223,084	△2,303,084
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	1,494,288	—
株式の発行による収入	1,978,633	—
リース債務の返済による支出	△653,448	△747,322
新株予約権の発行による収入	11,673	—
配当金の支払額	△152,235	△145,267
セール・アンド・リースバックによる収入	551,489	831,732
その他	△6,682	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,350,634</b>	<b>436,057</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50,086	△68,270
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>676,799</b>	<b>679,393</b>
現金及び現金同等物の期首残高	4,855,796	5,532,596
現金及び現金同等物の期末残高	5,532,596	6,211,989

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

「スポーツクラブ運営事業」の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額が90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

「スポーツクラブ運営事業」の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額が90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	475円41銭	498円37銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△60円44銭	32円45銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	30円47銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△1,141,646	632,951
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	19,999
(うち優先配当額(千円))	—	(19,999)
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△1,141,646	612,952
普通株式の期中平均株式数(株)	18,888,294	18,888,294
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	10,435
(うち支払利息(税額相当額控除後)(千円))	—	(10,435)
普通株式増加数(株)	—	1,569,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	2023年1月23日発行の A種種類株式 普通株式転換の目的と なる株式 2,092,000株  2023年1月23日発行の 第2回新株予約権 新株予約権の数 15,690個 (普通株式1,569,000株)



## (重要な後発事象)

## 連結子会社吸収合併の決議

当社は、2024年5月10日開催の取締役会において、2025年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社である株式会社スポーツオアシスを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議しております。

## 取引の概要

## ① 被結合企業の名称及び事業の内容

株式会社スポーツオアシス（会員制スポーツクラブの経営等）

## ② 企業結合日

2025年4月1日

## ③ 企業結合の方法

当社を存続会社、株式会社スポーツオアシスを消滅会社とする吸収合併

## ④ 結合後の企業の名称

株式会社ルネサンス

## ⑤ 企業結合の目的

当社は、2024年5月10日発表の中期経営計画において2027年度に過去最高益を目指し、総合型スポーツクラブのリーディングカンパニーとして業界をリードすることを掲げております。この度、オアシスを合併することで、当社グループ経営の最適化、経営資源の効率化の観点から事業基盤の強化を図ると共に、新たな成長・中期経営計画の目標達成に向けた準備を進め、「人生100年時代を豊かにする健康のソリューションカンパニー」として更なる発展を遂げることを目的としております。

## ⑥ 合併に係る割当内容

本合併による新株式の発行及び合併交付金の支払いはありません。

## ⑦ 被合併企業の直前事業年度の財政状態及び経営成績

資産合計 8,186,502千円

負債合計 5,750,513千円

純資産合計 2,435,989千円

売上高 17,144,702千円